

2021年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼 第18回 JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 北海道 戦評

日程 2021年4月10日(土) 11日(日)

会場 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場

【準決勝Aコート】

(北海道コンサドーレ東川U-12) 0-2 (LIV FOOTBALL CLUB U-12)

1ピリオド	0-0
2ピリオド	0-0
3ピリオド	0-0
延長前半	0-2
延長後半	0-0

【第1ピリオド】

北海道コンサドーレ東川U-12(以下コンサ)は3-3-1、LIV FOOTBALL CLUB U-12(以下LIV)も3-3-1のフォーメーションでキックオフ。

立ち上がり、コンサはキーパーからのビルドアップで、サイドにつけてボールを動かしながら縦パスをねらい攻撃を展開する。LIVは、インターセプトをねらいつつ、両サイドのスペースをねらってくる。ワンタッチでのクリアをシンプルにDFライン裏へ放り込む展開であった。

3分、コンサ11番の意図的なコントロールから相手を1人かわし、前を向きラストパスを送るが、最後はカットされてしまった。4分、コンサ14番が相手の突破を最後までついていき身体を張ってスライディングで守り、ピンチを防いだ。10分、コンサ9番相手左サイドの突破を、身体を張ってスライディングで阻止し、コーナーへ逃れた。どちらも堅い守備を攻略できず、決定機をつくれずに第1ピリオドは0-0で終了。



【第2ピリオド】

第1ピリオドの立ち上がり、LIVは、トップの両サイドのスペースへ放り込んでくる。3分、LIV47番が左サイドのスペースへスルーパス送り、75番が左足で強烈なシュートを打つも

ゴール上へ外れる。4分、コンサ7番が相手パスをスライディングでインターセプトし、チャンスにつなげるも惜しくもゴールへはつながらなかった。8分、LIV47番が、右サイド突破から75番へスルーパス。75番が右サイドを突破し、シュートまで行くも右へ外れてしまう。LIVの47番と75番のラインで、決定的なチャンスが続いた。



11分、コンサ3番が相手右サイドからの裏への飛び出しを絶妙なカバーでピンチを防いだ。11分、コンサ6番が相手縦パスをインターセプトし、ドリブルして自らシュート。しかし、惜しくも枠を外れた。コンサのゴール前の終結した身体を張った守備により、何度か決定的な場面はあったが、得点を許さなかった。LIVは、シンプルに裏のスペースへねらうロングボールを多用しチャンスをつくったが、得点には結びつかなかった。守備はどちらも球際に厳しい守備を行っていた。

【第3ピリオド】

第3ピリオドの立ち上がりの2分、コンサの左サイドへのスルーパスを、LIV22番が先を読んだカバーでピンチの芽を摘んだ。8分、右サイドからの強烈なシュートをコンサ1番が、はじくことなく見事なダイビングキャッチを見せた。11分、相手コーナーからのこぼれ球をシュートされたが、コンサ1番が足を伸ばしてファインセーブ。LIVはチャンスをもくつくるも、コンサ1番のファインセーブにより得点を決めることが出来なかった。

12分、コンサ10番がこぼれ球を拾い、相手を一人冷静にかわし遠目からシュートを打つも、惜しくもキーパー正面。LIVが多くチャンスをつくり出したが、決めきることが出来なかった。0-0のまま、延長へ突入。

【延長前半】

立ち上がりに試合が動いた。1分、LIV25番が左サイドを突破しクロスを送り、47番がフリーで落ち着いてトラップ。しっかりとコントロールし、右足を振り抜き右サイドネットへ強烈なシュートを突き刺してゴールを奪った。2分、LIV25番が左サイドから34番へクロス。34番が落ち着いてトラップし、相手を引きつけて右サイドの47番へラストパス。フリーの47番の強烈なシュートが右サイドへ決まった。



【延長後半】

LIV は、2 点取ったことにより厳しい守備を継続し、奪ったボールをよりシンプルに善戦の両サイドのスペースへ送り込む。コンサは、点数をとるために 2 トップへポジションチェンジ。必死にゴールを目指すも、LIV の厳しい守備によりシュートまでいくことができずに試合終了。

コンサはキーパーからのビルドアップで、足下から足下へしっかりとボールを動かしながらワイドに展開しゴールを目指していた。守備では、集結した守備によりシュートを打たせず、厳しい守備を徹底することができていた。

LIV は、インターセプトをねらいつつ、両サイドのスペースをシンプルにねらう場面が多かった。また DF がシンプルにワンタッチでクリアし DF ライン裏へ放り込み、FW の 1 対 1 の仕掛けにつながっていた。厳しい守備からチャンスを広げ、決めきった LIV が決勝進出となった。

【文責：苫小牧地区サッカー協会 第四種委員会 技術委員 長田 秋山】

【編集：苫小牧地区サッカー協会 第四種委員会 事務局長 松本 昭】

【写真提供：苫小牧民報社】

【準決勝 B コート】

(HKD FOOTBALL CLUB U-12 1-3 ASARI Football CLUB)

1 ペリオド	0-0
2 ペリオド	0-0
3 ペリオド	1-3

【第 1 ペリオド】

HKD BALL CLUB U-12 (以下 HKD) は、2-3-2、ASARI Football CLUB (以下 ASARI) は 2-4-1 のフォーメーションで ASARI のボールでキックオフ。立ち上がり、HKD が前線からのハイプレッシャーでボールを奪い、ASARI ゴールへ攻めこむ。対する ASARI もゴール前での粘り強い守備で応戦。

1 分、HKD が左サイド 55 番からパスを受けた HKD30 番がドリブルで切り込みファーストシュートを打つも惜しくもゴールポストに嫌わ



れる。序盤、HKD はサイドを広く使いながらボールを動かし攻撃を展開。一方、ASARI は、奪ったボールをシンプルにトップやミッドにあて、相手の背後をねらう攻撃を展開する。6分、HKD30番が右サイドをドリブルで切り裂き、ゴール前にクロスをあげるも ASARI ゴールキーパーに阻まれる。直後の7分、ASARI が1番ゴールキーパーのパントキックからカウンターを仕掛け、59番が裏に抜け出し、キーパーと1対1になりシュートするも惜しくも枠外へ外れる。終始、お互いにチャンスはつくるがなかなか決めきれずに第1ピリオドが終了。

【第2ピリオド】

第2ピリオドもHKDがサイドをワイドに使い、ボールを動かしながらASARIゴールへ迫る。2分、HKDがセンターサークル付近でフリーキックのチャンス。54番のフリーキックを29番がシュート、相手DFに阻まれたこぼれ玉に反応した7番が再びシュートするも惜しくも枠外に外す。6分、HKD59番が左サイドをドリブルで仕掛けチャンスをつくり、ゴール前に走り込んできた32番へ折り返しシュートするも枠外に。ASARIはDFラインからボールをシンプルに縦に送る展開でチャンスをつくり、7分、DFからパスを受けた4番が左サイドをドリブルで切り込み、クロスを入れるも相手DFに阻まれる。お互いに攻守の切り替えがはやく、粘り強い守備で相手の攻撃を食い止め、一歩も譲らないゲーム展開が続き、0-0で第2ピリオドが終了。

【第3ピリオド】

HKDは2-4-1、ASARIは3-2-2で両チームともシステムを変更し、HKDのキックオフで第3ピリオドが始まる。ゲーム序盤、中盤でお互いに強度のあるプレスでボールの奪い合い、シンプルに裏を狙う攻撃が続く一進一退のゲーム展開となる。3分、ASARIがDF8番からシンプルに縦パスを送り、FW11番を起点にしチャンスを徐々につくる。直後に得た左コーナーキックから右に流れたボールに対して、走り込んできた7番がシュートしASARIが先制ゴール。一方、先制ゴールを許したHKDであったが、前線からの激しいプレスにより相手のミスを誘い、54番がパスカットしたボール受け59番がシュートするもゴールはとらえきれず。8分、ASARIは、相手の裏のスペースつく攻撃からチャンスをつくり、右サイドの裏でボールを受けた2番がドリブルで縦を



切り裂き、折り返しを10番が受け、相手ディフェンスをうまく引きつけた。ラストパスを受けた9番が落ち着いてシュートし追加点。2点リードされているHKDだったが、9分、54番がセンターサークル付近でボールを受け、前線の30番に縦パス。うまく相手ディフェンスを交わし30番がシュートするも一度は、ゴールポストに嫌われるが、リバウンドボールに素早く反応し再びシュートしネットを揺らした。11分、ASARIが再びチャンスをつくる。左

サイドからパスを受けた 10 番から 7 番へとボールをつなぎ、7 番がミドルシュート、HKD ゴールキーパーが触るもそのままゴールし追加点したところで試合終了。1-3 で ASARI が決勝進出を決めた。

【文責：苫小牧地区サッカー協会 第四種委員会 技術委員 長谷川 大串】

【編集：苫小牧地区サッカー協会 第四種委員会 事務局長 松本 昭】

【写真提供：苫小牧民報社】

【決勝】

(LIV FOOTBALL CLUB U-12 4-2 ASARI Football CLUB)

1	ピリオド	2-0
2	ピリオド	2-1
3	ピリオド	0-1

【第 1 ピリオド】

LIV BALL CLUB U-12 (以下 LIV) は、3-3-1、ASARI Football CLUB (以下) ASARI も 3-3-1 のフォーメーションで ASARI ボールのキックオフ。立ち上がり、お互いに幅を使いながら、ギャップを狙った攻撃が目立ち、LIV は、ハイプレッシャーでボールを奪いに行き ASARI ゴールへ攻め込み、対する ASARI も 1 対 1 で負けない粘りつよい守備で応戦している。4 分、LIV は、前線からの守備からボールを奪い、56 番がシュート、ゴールポストの跳ね返りをつめてきた 25 番が再びシュートし、先制ゴール。先制ゴールを奪い勢いになる LIV が立て続けにチャンスをつくる。5 分、ボールを受けた 10 番が裏へパスし、うまく相手の背後に抜け出した 29 番がゴールキーパーの頭越しを狙うループシュートで追加点。リードを許している ASARI であったが、選手間の距離をコンパクトに保ち、うまく相手の攻撃の芽をつぶし、シンプルに相手の裏を狙いながらゴールへ攻め込むも第 1 ピリオドが 2-0 で終了。



【第2ピリオド】



両チームともシステムの変更はなく、メンバーが入れ替わっても、お互いにプレーの強度を保ったゲーム展開が続く。立ち上がり LIV がサイドを起点にチャンスをつくりながら攻撃を仕掛け、右サイドバック 37 番のクロスに対し、ゴール前でパスを受けた 75 番がシュートし追加点。なおも、LIV の攻撃が続き、3分には47番からスルーパスを受けた75番がゴールキーパーと1対1をむかえるもシュートは惜しくも左サイドへ外す。6分、前線にはっていた LIV75 番が相手ディフェンスを引きつけながらうまくボールをおさめ、左

サイドの 38 番へ展開しクロス。再び 75 番が受け、冷静なゴールでさらに追加点を決める。

苦しい展開をむかえていた ASARI であったが、相手の気の緩んだ隙をついて、7分、中盤の中央にいた 5 番から 9 番への縦パスが入り、うまくディフェンスを交わし、待望のゴールを奪う。ゴールを奪い少しずつリズムがでてきた ASARI は奪ったボールをシンプルに前線へ送り、相手の背後を狙いながら果敢にゴールへ迫るも第2ピリオドが終了。

【第3ピリオド】

第3ピリオドにはいり、ASARI が 3-2-2 にシステムを変更。対する LIV は、3-3-1 のままで試合が始まった。ゲーム序盤、LIV はゴールキーパーをうまく使いながらディフェンスラインから攻撃を組み立てて行く。2分、LIV75番が中央よりドリブルで仕掛け、ペナルティーエリアに侵入するも、ASARI5番の粘り強い守備でシュートを阻まれる。3分、ASARI がチャンスを得る。サイド 8 番から 9 番へのワンツースで裏へ抜け出すもファイルで止められる。6分、ASARI の左 FW の 9 番から右 FW の 11 番へパスがわたり、DF を交わしシュートするも惜しくもゴールポストに嫌われる。9分、さらに攻撃の優勢を強める ASARI がゴール前でボールを受けた 9 番が中央からドリブルで仕掛け、相手 DF2 枚をかわして右サイドネットへシュートし、1 点を奪い返す。終盤、攻め込まれる時間帯が続いた LIV であったが守備範囲がひろいゴールキーパー中心に ASARI の裏への攻撃を未然に防ぎタイムアップ。LIV が全国大会への切符を手にした。

【文責：苦小牧地区サッカー協会 第四種委員会 技術委員 長谷川 大串】

【編集：苦小牧地区サッカー協会 第四種委員会 事務局長 松本 昭】

【写真提供：苦小牧民報社】